ケースカード:副鼻腔炎疫学調査

(施設番号) (整理番号)

性別 (M F	- 年齢 _	才 生年.	月日			初診日			
発症年齢									
	10 🗆	10-19	□20-29	□30-3	39 □4	0–49	□50-59	9 □60	<
初診時身体的	听見・症状								
鼻茸				(あ	りなし)				
粘稠な鼻泡	+			(あ	り なし)				
後鼻漏				(あ	り なし)				
顔面痛				(あ	り なし)				
嗅覚障害				(脱	失 あり	なし)			
嗅裂閉塞				(あ	り なし)				
渗出性中〕	耳炎			(あ	り なし)				
ニカワ状ワ	中耳貯留液			(あ	り なし)				
骨導閾値_	上昇 (1 周波	g数でも 30d	B以上)	(あ	り なし	未測定	E)		
喫煙									
口今まで	契煙歴なし	口以前ある	(本/日	3、 年間	間) 口芽	見在ある	(本/日	、 年間)	
採血									
採血日									
採血時、	2 週以内の内	服ステロイ	ド使用	(あり	なし)				
WBC	<u>/mm³</u> , RBC	<u> </u>	$10^4/\text{mm}^3$	Hb	g/dL、H	t	<u>%</u> 、PIt_	× 10^	4/mm ³
好中球_	<u>%</u> 、好酥	g球 <u>%</u> 、	好塩基球	<u>%</u> .	リンパ球	<u>%</u> .	単球	<u>%</u>	
非特異的	IgE	IU/mL							
ハウ	スダスト	□ (-)	□ (1+)	□ (2+)	□ (3+)	□ (4 +)	□ (5+)	□ (6+)	
コナ	ヒョウヒダニ	(-)	□ (1+)	□ (2+)	□ (3+)	□ (4 +)	□ (5+)	□ (6+)	
ヤケ	ヒョウヒダニ	(-)	□ (1+)	□ (2+)	□ (3+)	□ (4+)	□ (5+)	□ (6+)	
スギ		□ (-)	□ (1+)	□ (2+)	□ (3+)	□ (4+)	□ (5+)	□ (6+)	
ヒノ	+	□ (-)	□ (1+)			□ (4+)	□ (5+)		
シラ	カンバ	— 、 ,		□ (2+)	□ (3+)		— \= <i>/</i>	□ (6+)	
カモ		□ (−)	□ (1+)	□ (2+) □ (2+)	☐ (3+) ☐ (3+)	□ (4+)		□ (6+) □ (6+)	
	ガヤ						□ (5+)		
		□ (-)	□ (1+)	□ (2+)	□ (3+)	□ (4+)	□ (5+) □ (5+)	□ (6+)	
ブタ	ガヤ	□ (−) □ (−)	□ (1+) □ (1+)	□ (2+) □ (2+)	□ (3+) □ (3+)	□ (4+) □ (4+)	□ (5+) □ (5+) □ (5+)	□ (6+) □ (6+)	

呼吸機能検査					
VCm I %VC	%				
FEV1.0ml FEV1.0%	% %FEV1.0	%			
CT スコア (Lund-Mackay: 0, 1, 2	★OMC と鳴	製について	は 0, 2)		
前頭洞 前篩骨洞	後篩骨洞	上顎洞	蝶形骨洞	OMC	嗅裂
右					
左					
	1		1		
鼻茸組織中好酸球数 好酸球数 ()	(400、視野数	22、一視野る	あたり)		
①個 ②個 ③		平均	個		
合併症について					
気管支喘息	((+ -)			
アスピリン喘息	((+ -)			
好酸球性筋膜炎	((+ -)			
好酸球性食道炎	((+ -)			
好酸球性胃腸炎	((+ -)			
慢性好酸球性肺疾患	((+ -)			
好酸球性膿疱性毛包炎	((+ -)			
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	((+ -)			
好酸球增多症候群(HES)	((+ -)			
アレルギー性気管支肺アスペルキ	ルス症((+ -)			
アレルギー性鼻炎	((+ -)			
アトピー性皮膚炎	((+ -)			
食物アレルギー	((+ -)			
蕁麻疹	((+ -)			
薬剤アレルギー	((+ -) (薬	系 剤名)
関節リウマチ	((+ -)			
最終診断					
□ 非好酸球性副鼻腔炎					
□ 好酸球性副鼻腔炎					
│ □ アレルギー性真菌性副鼻腔	!炎				
□ 副鼻腔真菌症					
□ その他()				

JESREC

<jesrec スコア=""></jesrec>			<難治性因子>				
病側	口片側(0 点)	点	<因子A> すべての				
	口両側(3点)		□ 末梢血好酸球数>5% 因子が				
			□ CT 陰影:篩骨洞≧上顎洞				
鼻茸	口なし (0 点)	点	<因子B> ■				
	口あり(2点)		□ 気管支喘息の合併・既往 <u>1つ以上の</u>				
CT 陰影	□篩骨洞<上顎洞(0点)	点	□ アスピリンアレルギーの合併 ► 因子が				
	□篩骨洞≧上顎洞(2点)		□ NSAIDs アレルギーの合併 」 陽性(1点)				
血中好酸球	□ ≦2% (0点)	点					
	□ 2< ≦5% (4点)						
	□ 5< ≦10% (8点)						
	□ 10%< (10点)						
	숌 計	点					

★判定:11 点以上→ECRS、10 点以下→Non-ECRS

★JESREC 診断

☐ Non-ECRS	
□ 軽症 ECRS	(難治性因子 0点)
□ 中等症 ECRS	(難治性因子 1点)
□ 重症 ECRS	(難治性因子 2点)

好酸球性中耳炎診断基準(該当であれば重症とする)

(好酸球性中耳炎診断項目)

大項目							
中耳貯留液中に好酸球が存在する滲出性中耳炎または慢性中耳炎		1. 該当	2. 非該当	3. 不明			
小項目							
(1) にかわ状の中耳貯留液		1. 該当	2. 非該当	3. 不明			
(2) 抗菌薬や鼓膜切開など、ステロイド投与以外の治療に抵抗性		1. 該当	2. 非該当	3. 不明			
(3) 気管支喘息の合併		1. 該当	2. 非該当	3. 不明			
(4) 鼻茸の合併		1. 該当	2. 非該当	3. 不明			
鑑別診断							
以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。 1. 全			2. 除外不可	可 3. 不明			
□好酸球性肉芽腫性多発血管炎 □好酸球増多症候群							
最終診断							
大項目の1項目と小項目の2項目以上を満たし、鑑別疾病が除外で	できる	1. 該当	2. 非該当	3. 不明			